

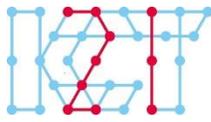
ICT CONN^eCT 21

Collaborative Open Network for New Educational Concepts with Technologies

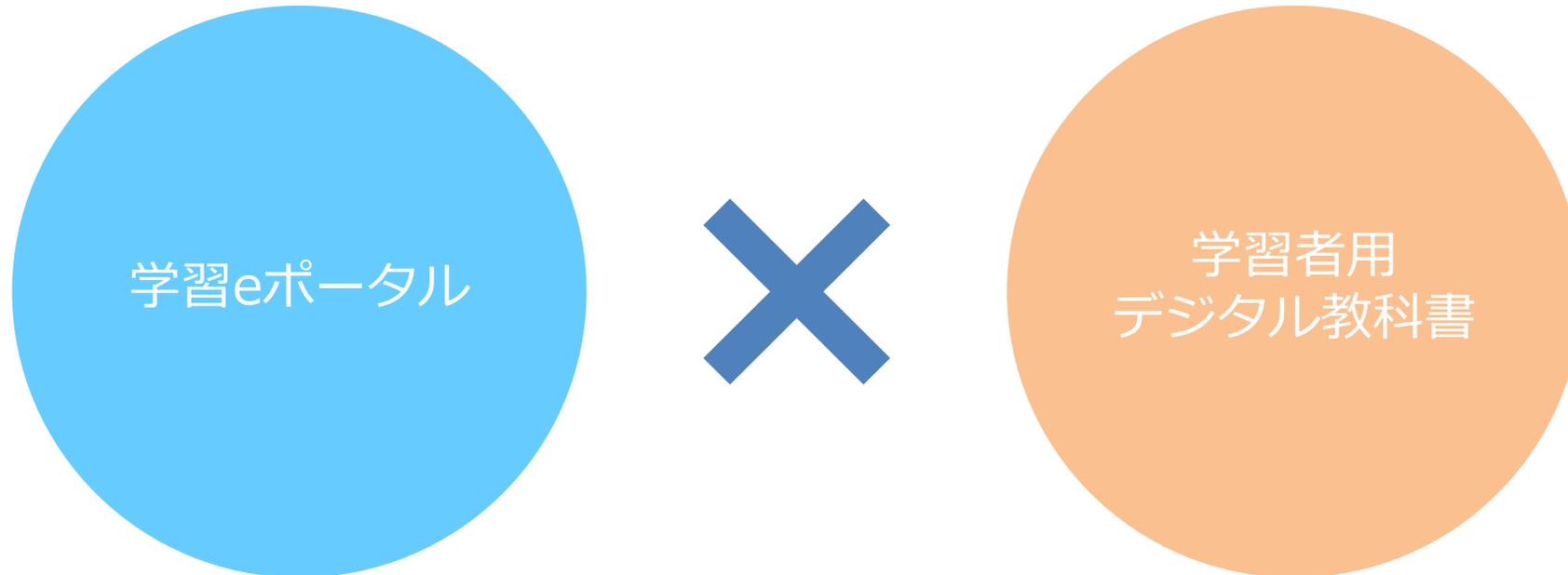
学習eポータルと 学習者用デジタル教科書の 連携に関する オンライン説明会

2024.4.4

ICT CONNECT 21 学習eポータルSWG
Platformサブグループ

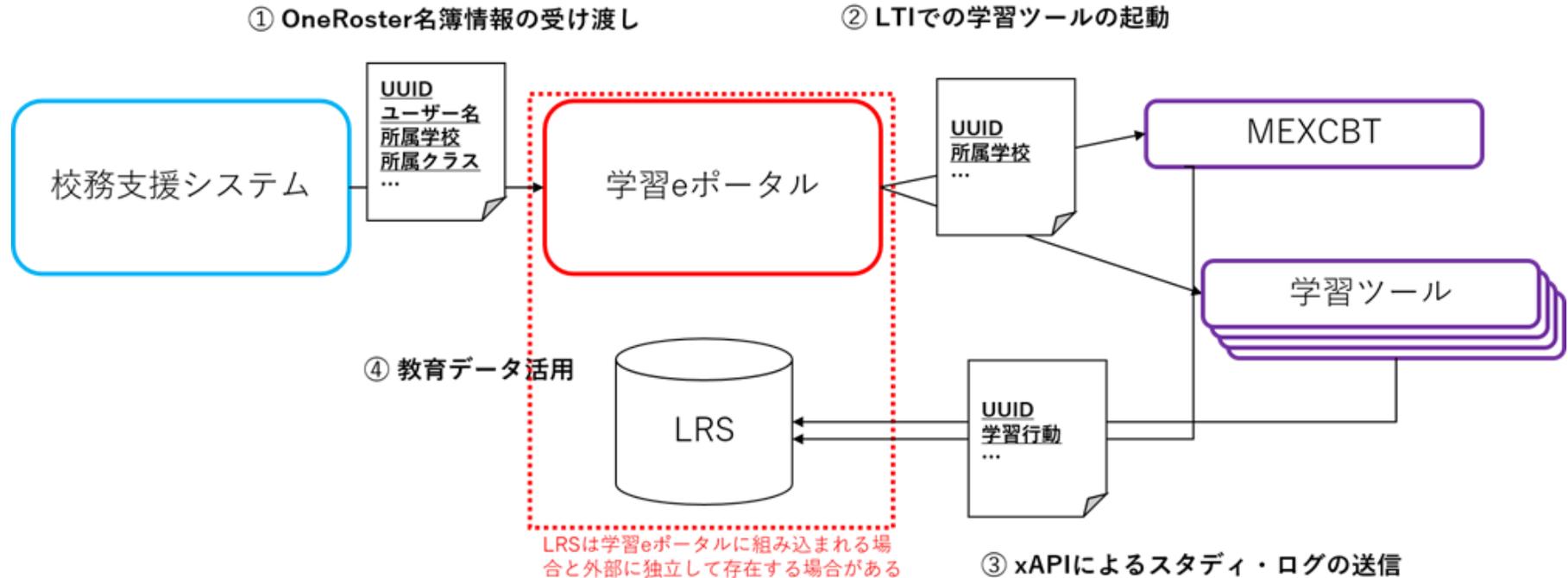


学習eポータルと学習者用デジタル教科書を連携させて利用することで、学習者用デジタル教科書のアカウント管理やライセンス管理の負担を減らす運用を可能とする取り組みを開始します。



学習eポータル

- デジタル学習環境のハブとしてデザインされたソフトウェア
 - ✓ 企業や教育委員会、研究者などが集まって文部科学省やデジタル庁と連携しながら仕様を決めて公開



【課題】

- 他方、デジタル教科書を導入するに当たっての教師の主な課題感²⁷としては、以下の点が挙げられる。

(環境面の課題)

- ① アカウント登録・管理、ユーザ ID・パスワードの割り振りなどの導入に係る設定作業
- ② フリーズ、エラーへの対処やログインの手間、ページめくりの遅さなどから使いづらい

(活用面での課題)

- ③ デジタル教科書の効果的な活用方法についての情報が不足している
 - ④ 児童生徒が授業と関係ない操作に集中してしまうことがある
- ということをそれぞれ約4割の教師が感じている。
- これらの課題感は前年度に比べて約1割減少してきているが、政府・業界においては以下のような対策を進めているところである。
 - ① 各デジタル教科書のビューアでアカウント登録に使用するファイルのフォーマットを統一し、令和6年度から本格的に、一つのファイルを作成すればそのファイルでどのビューアでもアカウント登録をできるようにした。

さらに、業界側でも、登録用ファイルを自動生成でき、かつ簡単な指定だけでアカウント登録等が自動的にできる無償サービスや、学習eポータルに登録していればデジタル教科書との連携の申し込みをするだけで学習eポータルからデジタル教科書ビューアにアクセス可能となる無償サービスの提供が新たに始まりつつある。

中央教育審議会
初等中等教育分科会
デジタル学習基盤特別委員会
デジタル教科書推進ワーキング
グループ
中間まとめ P12より

今回の取組みの概要

- 学習者用デジタル教科書は**学習eポータルから起動**するようになる。
- **パスワードなし（シングルサインオン）**で起動できる。自治体・学校はシングルサインオンに関する事前設定は行わなくて良い。
- デジタル教科書プラットフォームでは**アカウント管理は行わない**。
転出入等にともなうアカウント管理は、**学習eポータルのみで実施**する。
- デジタル教科書プラットフォームにおける、**ライセンス管理操作も行わない**。
(教科書需要数の変更に関する事務手続きは適切に行ってください)
- 費用は**無償**

今回の取組みに対応する学習eポータルと 学習者用デジタル教科書

学習eポータル



(株式会社内田洋行)



(NTTコミュニケーションズ株式会社)

学習者用デジタル教科書

文部科学省事業で提供



- 開隆堂出版
- 学校図書
- 教育出版
- 日本文教出版

注意が必要な点 1

- **文部科学省事業で提供される学習者用デジタル教科書のみ対象**
 - ✓ 対象学年：小学校5・6年、中学校1～3年
 - ✓ 教科：英語（外国語）、算数・数学
- 自治体・学校が**個別に購入**した学習者用デジタル教科書は**対象外**になります。
- **指導者用デジタル教科書**は**対象外**です。
- 利用範囲・数量は、文部科学省事業で認められた範囲でご利用ください。

注意が必要な点 2

- 連携の**申込**は、**学習eポータル事業者が受け付けます**。
- 本セミナーの最後のパートで、事業者からそれぞれ案内があります。
- 申込情報は、学習eポータル事業者から教科書会社に報告されます。
- 連携に関する**問合せ**は、それぞれの**学習eポータル事業者が対応**します。

これからも使いやすくしていく努力を続けて行きます

- これまでは、各企業の努力で改良が行われて来た、言わば個別最適の世界。全体を便利に使いやすくする**全体最適**を目指すには、さまざまなソフトウェアが連携して動作する相互運用性が求められる。そして相互運用性を確立するには、さまざまな標準化が必要。
- **標準化の最大の受益者は利用者**。最終的には児童生徒、その前に教職員や教育委員会、学校法人の方々。
- まずはこの取り組みに参加する学習eポータルやデジタル教科書ビューアーを増やす努力を続けて行く。